

厳原港（厳原地区） 旅客船埠頭再編

既存岸壁の更新、および手狭となっていた埠頭の再編を行い、利用者にとって安全・安心で使いやすい港湾の形成を図ります。



航空写真（R2年12月撮影）

旅客ターミナル機能の再編

急増する釜山航路利用者を受け入れるため国内と国際ターミナル機能を分離。緑地を整備するなど、対馬の玄関口にふさわしい機能を確保する。



利用者急増に伴い、機能が不足



<事業概要>

事業主体：国、長崎県、対馬市

事業期間：平成24年度～令和4年度（目標）

（R2.12 フェリー用岸壁及び新国内ターミナル供用開始）

事業内容：（国）岸壁(-5.5m)

（県）岸壁(-7.0m)、物揚場、浮桟橋、

可動橋、道路、緑地 等

（市）旅客ターミナルビル